



<報道資料>

2015年3月2日

Amazon 第三者機関とのパートナーシップを強化 一般社団法人セーフアーインターネット協会(Safer Internet Association, SIA)に 賛助会員として参加決定

～違法・有害製品の排除における協力を通じ、お客様に安全な顧客体験を継続的に提供～

アマゾン ジャパン株式会社は、お客様に安全な顧客体験を継続的に提供するために、違法・有害製品の排除において、第三者機関とのパートナーシップを強化いたします。

その一環として、一般社団法人セーフアーインターネット協会(Safer Internet Association, 以下SIA)に賛助会員として参加することが決定いたしました。

SIAは、インターネットビジネスに携わる企業の有志が連携して、誰でも安心してインターネットを利用できるよう、インターネットに関する社会問題の解決や利用者のリテラシー向上のための取り組みを展開しています。特に、基幹事業である「セーフライン」では、インターネットユーザーからの違法・有害情報の通報受け付けやパトロールを実施し、その内容に基づき警察への通報やサイト管理者・プロバイダ等への削除要請を実施しています。

SIAの賛助会員になることで、アマゾン ジャパン株式会社はSIAから提供を受けた違法・有害製品に関する情報に基づく対策を実施し、Amazonのお客様に安全な買い物環境を提供し続けるための大きなサポートになることを期待しています。

「私たちは、SIAのミッションに全面的に協力してまいります。SIAのミッションは、Amazonのビジョンである『地球上で最もお客様を大切にする企業であること』の考え方に一致しています。SIAの賛助会員になることは、Amazonの顧客体験を改善し続けるための重要な要素になります。」とアマゾン ジャパン株式会社代表取締役社長ジャスパー・チャンはコメントしています。

Amazonは、今後も顧客体験の改善をし続ける一環として、第三者機関との協力体制を強化してまいります。

Amazonについて

Amazonは1995年7月にWorld Wide Web上でスタートしました。Amazonは4つの理念を指針としています。競合他社ではなくお客様を起点にすること、創造への情熱、優れた運営へのこだわり、そして長期的な発想です。カスタマーレビュー、1-Click注文、パーソナライズされたおすすめ商品機能、Amazonプライム、フルフィルメントby Amazon (FBA)、アマゾン ウェブ サービス(AWS)、Kindle ダイレクト・パブリッシング、Kindle、Fire Phone、Fire タブレット、Fire TVなどは、Amazonが先駆けて提供している商品やサービスです。

「SIA」及び「セーフライン」について

一般社団法人セーフアーインターネット協会(SIA)は、インターネットの悪用を抑え自由な利用環境を護るために、インターネットの悪用に対する実効的な対策を立案・実行することを目的にインターネット関連ビジネスを行う民間企業の有志で2013年に設立いたしました。同年11月からはインターネット利用者からの連絡等を元に、違法な情報や有害な情報が掲載されたサイトの管理者に対しての削除要請や、警察への通報を行う取組み「セーフライン」を開始いたしました。2014年7月からはインターネット利用者が安心・安全に利用するための教育事業も開始し、より安心・安全なインターネット社会の実現に貢献しています。

<http://www.saferinternet.or.jp/>

本件に関する報道関係者からのお問合せ先

アマゾン ジャパン株式会社

プレス対応 Tel:03-6367-4117

プレス対応 E-mail: press@amazon.co.jp